

# JSS S-FJ Scholarship



JSS S-FJ スカラシップドライバー三宅淳詞選手の参戦レポート  
FIA-F4 選手権 Rd7 Rd8 富士スピードウェイ  
2019年8月3～4日 参加台数 37台



予選 第7戦 8位 第8戦 7位 天候:晴れ 路面:ドライ

8時5分から30分間の公式予選が始まった。前日にBコーナーの舗装工事があり路面が汚れていた為にHFDPは開始から5分をピットでスタンバイする。前回の鈴鹿同様に路面温度が上がりタイヤが摩耗するのでガソリンを減らして短いアタックを行うことになる。スリップストリームをを使いつつアタックするもののタイムがいまいち上げられず1分46秒531で第7戦目が8位、1分46秒630で第8戦が7位スタートとなった。

## 第7戦 予選結果

Position	Car No	Driver	Entry Name	Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	1' 46.038
2	60	菅波冬悟	OTG DL F110	1' 46.198
3	37	平良 響	FTRS スカラシップ F4	1' 46.321
8	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	1' 46.531

## 第8戦 予選結果

Position	Car No	Driver	Entry Name	Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	1' 46.116
2	60	菅波冬悟	OTG DL F110	1' 46.272
3	98	石坂瑞基	TOEI BJRacing F110	1' 46.352
7	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/コチラレーシング JSS	1' 46.630

## 第7戦 決勝レース 9位 天候:晴れ 路面:ドライ

午後1時45分、強い日差しの中でレースはスタートした。路面温度も上がりタイヤが地面に食い付きやすくなっており、エンストをしないように意識してスタートする。そのスタートは上手く行き、1コーナーでは2つ順位を上げて7位でクリアする。しかし、スタート直後に接触がありセーフティカーが導入される。4周目に再スタートすると5位争いの中に入り、激しい4台でのバトルが始まる。しかし、5周目のAコーナーで追突されてしまいスピンをして順位を大きく落としてしまう。その後10位まで順位を上げ9位の選手に追いつくが、なかなか抜けない。そして12周目の1コーナーでアクシデントが発生し、その時点で赤旗が提示されレースは中断されるが、そのまま打ち切れ11周終了時点の9位で確定となった。

Position	Car No	Driver	Entry Name	Total Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	22' 14.026
2	60	菅波冬悟	OTG DL F110	22' 15.855
3	98	石坂瑞基	TOEI BJRacing F110	22' 16.432
9	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/ コチラレーシング JSS	22' 26.862

## 第8戦 決勝レース リタイア 天候:晴れ 路面:ドライ

翌日の第6戦目も快晴の中、8時15分にレースが始まった。今回もスタートは上手く決まったものの、日曜日にも強い日差しの中、午前8時に第8戦がスタートする。8戦もスタートは上手く決まるものの順位を上げるには至らない。Bコーナーで1台に抜かれてしまい1周目は8位で通過。しかし2周目の100Rコーナーで体勢を崩した選手を抜いてポジションを上げることが出来た。しかし、そこからはなかなかペースが上げることが出来ずに集団についていくだけのペースとなってしまふ。やがて、10周目のBコーナーからバトルが始まり順位をキープしたままターン13に侵入するときに他車と接触してしまいリアのアームが壊れて走行不能になり、そのままリタイアとなってしまった。

Position	Car No	Driver	Entry Name	Total Time
1	7	佐藤 蓮	SRS/コチラレーシング	25' 06.582
2	24	平木玲次	Media DoADVICS 影山 F110	25' 07.109
3	60	菅波冬悟	OTG DL F110	25' 08.261
リタイア	5	三宅 淳詞	HFDP/SRS/ コチラレーシング JSS	10 Lap